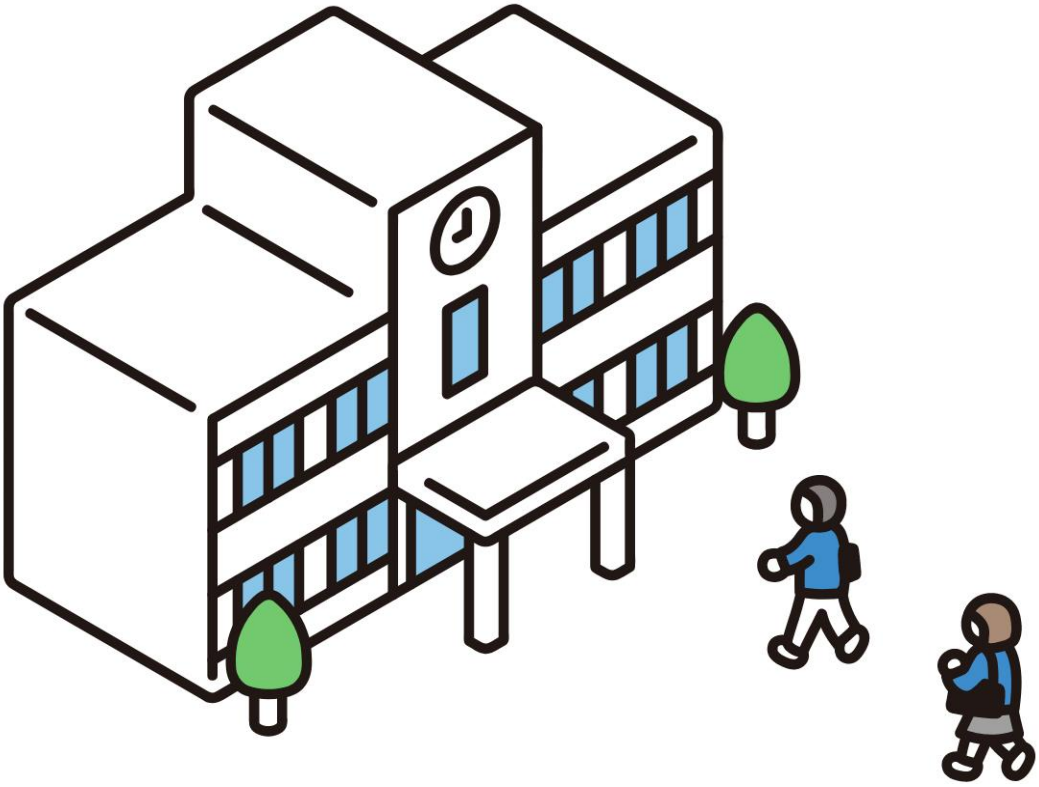


令和７年度

川西の教育

～アクションプラン～

川西市教育委員会

目次

はじめに

川西の教育～アクションプラン～とは？ ---------- P1

川西の教育～アクションプラン～の位置づけ ---------- P1

今年度の重要施策

令和７年度重要施策 一覧 ---------- P3

教育委員会事務局の主な取組

教育委員会事務局の主な取組 ---------- P5

学校園所の主な取組

学校園所の主な取組 ---------- P8

令和５年度の主な取組と評価

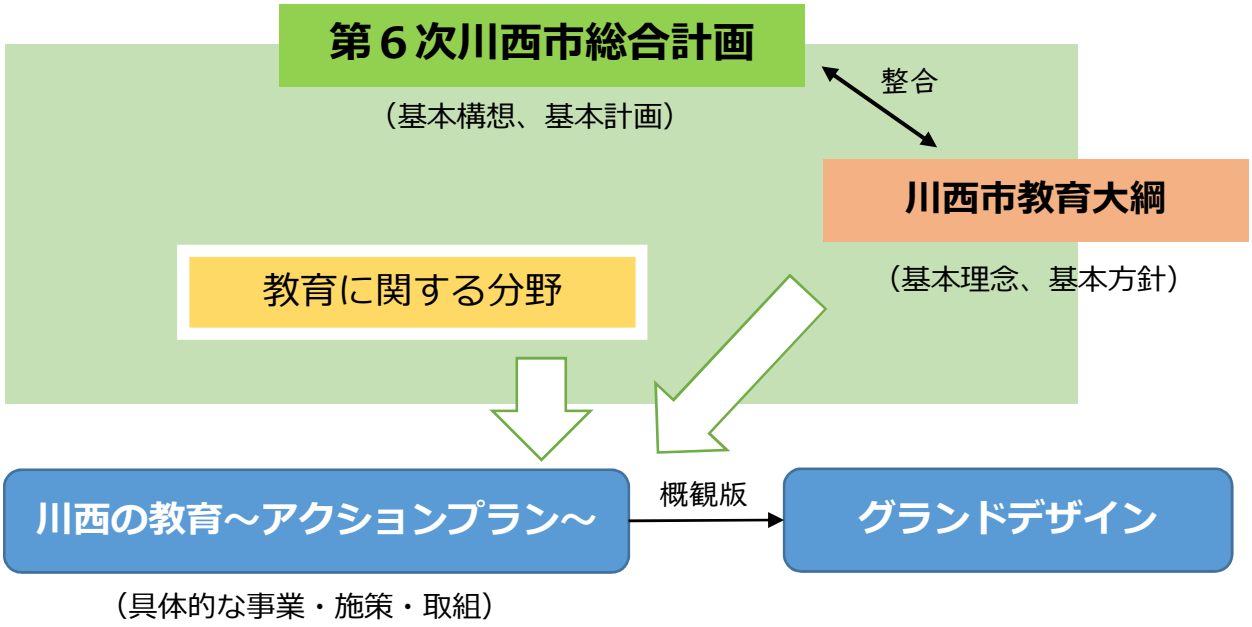
令和５年度の主な取組と外部有識者からの評価 ---------- P10

川西の教育～アクションプラン～とは？

令和６年度に、川西市のめざすまちづくりの基本方針「第６次川西市総合計画」を策定しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、川西市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針として「川西市教育大綱」も同時に策定しました。教育大綱の策定に向けては子どもの意見を大切にしたいという想いから、市長、教育長、教育委員が全中学校・特別支援学校へ訪問し、生徒と対話を重ねました。

川西市教育委員会では、第６次総合計画や教育大綱に基づいて取り組む事業のうち、重点的に取り組む事業やこれまで取り組んできた内容を『川西の教育～アクションプラン～』としてまとめました。取組内容を共有するだけでなく、進捗状況や成果・課題をまとめ、子どもたちの充実した学びや育ちにつながる取組みを進めていきます。

川西の教育～アクションプラン～の位置づけ



「第６次川西市総合計画」は、基本構想として５つの柱「1.人が豊かに育つ川西の実現」「2.にぎわいが生まれる川西の実現」「3.安全安心を備えた川西の実現」「4.快適な環境で暮らせる川西の実現」「5.変革の歩みを止めない川西の実現」で構成しています。

教育委員会の事業は、基本構想の５つの柱のうち主に「1.人が豊かに育つ川西の実現」の「小施策２．子育て環境整備」「小施策３．教育保育」「小施策４．若者支援」に体系づけています。（次頁図参照）

基本構想	基本計画			
５つの柱(分野別目標)	No.	施策	No.	小施策
01 人が豊かに育つ川西の実現	1	子ども・若者	1	妊娠・出産・乳幼児支援
			2	子育て環境整備
			3	教育保育
			4	若者支援
	2	人権・ジェンダー平等・多文化共生	5	人権・ジェンダー平等・多文化共生
	3	生涯学習	6	社会教育
			7	芸術文化・スポーツ

（「第６次川西市総合計画」より）

子どもたちが幸せでいることや、そこから広がる笑顔は、世代を超えたにぎわいを生み、多くの人を幸せにする力があります。そこで、まず子どもに笑顔（幸せ）になってもらいたいという思いから、本市の施策は子ども・教育から始めます。また、人と交流する機会が減っている中、これまで以上に「人づくり」や「つながりづくり」が求められることから、個人の成長と地域社会の発展、学びと活動の好循環を生み出すことで、誰もが豊かに育つことのできる川西をめざします。

「川西市教育大綱」の基本方針

«基本方針»　※重要施策に関連するものを抜粋

（１）子育て・就学前教育保育　「すべての子どもたちに最良のスタートを」

ア　遊びを中心とした学びの支援

イ　子どもが主体となる質の高い教育保育環境の提供

ウ　インクルーシブ教育保育の提供

エ　地域社会との協働による子どもの健やかな成長の支援

（２）学校教育　「すべての子どもたちに充実した学び、育ちを」

ア　主体的な学びや育ちを習得できる環境の充実

イ　互いの多様性を尊重し、つながりを大切にした協働的な学びや育ちの実現

ウ　ともに学び、ともに育つインクルーシブ教育の推進

エ　学校運営をみんなで考える体制の構築

オ　子どもの学びや育ちを支える教職員の育成

カ　新たな部活動環境の構築に向けた社会移行の実現

キ　学級規模、学校規模を検討し、質の高い教育環境の整備

ク　就学前教育保育施設と学校との連携の強化

ケ　人権教育、多文化共生教育の推進

令和７年度重要施策 一覧

総合計画の目標の実現に向けて、教育委員会が取り組む重要な施策は以下のとおりです。

その中で、**教育大綱（○）△** と表示している項目は、教育大綱の基本方針に基づき、重点的に実施する取組みです。

取組名	学校のICT機器の充実	
担当	教育保育課	**教育大綱（２）ア**
【概要】	事業費	86,273万円

学校における児童生徒１人１台のタブレット端末を更新します。また、川西養護学校、特別支援学級、少人数学級に電子黒板を拡充して配置します。

取組名	中学校の放課後学習支援	
担当	教育保育課	**教育大綱（２）ア**
【概要】	事業費	2,717万円

子どもたちが、いつでも学び直しができるよう、中学生を対象にした民間事業者による無料学習支援を、１学期の早い段階から放課後の教室で実施します。

取組名	部活動の社会移行の推進	
担当	教育保育課・教育総務課	**教育大綱（２）カ**
【概要】	事業費	1,077万円

中学生の放課後の活動を持続可能にするため、地域全体で支えます。令和7年度は、中学校での活動に必要な照明機器の整備、地域クラブの情報を管理するポータルサイトの導入、及び低所得世帯への活動費助成を行います。

取組名	川西養護学校スクールバス更新	
担当	インクルーシブ推進課	**教育大綱（２）ウ**
【概要】	事業費	6,100万円

川西養護学校に通う川西市、猪名川町の児童生徒を送迎するスクールバスを更新するとともに、１台増やします。

取組名	中学校自転車通学用の駐輪場の整備	
担当	教育総務課	
【概要】	事業費	96万円

東谷中学校区（北陵地区）で、自転車通学する生徒が使用する駐輪場を整備します。

取組名	民間プールを活用した水泳授業の実施	
担当	教育総務課・教育政策課	**教育大綱（２）ア**
【概要】	事業費	1,162万円

子どもたちの学習環境の充実に向けて、民間プールを活用した水泳授業の実施校に、川西小学校、桜が丘小学校、及び清和台中学校を新たに加えて実施します。

取組名	市立学校のあり方検討	
担当	教育政策課	**教育大綱（２）キ**
【概要】	事業費	46万円

学校のあり方基本方針に基づき、より良い教育環境をめざし、望ましい学校規模を実現するため、清和台地区の保護者や地域住民と話し合いを進めます。

取組名	就学前医療的ケア児のための看護師配置	
担当	教育保育職員課・インクルーシブ推進課	**教育大綱（１）ウ**
【概要】	事業費	2,385万円

医療的ケアが必要な子どもが安心して保育を受けられるよう、市立認定こども園で受け入れ体制を整えるための看護師配置を行います。

今年度の重要施策

取組名	夏季休業期間中のみの留守家庭児童育成クラブの運営業務委託	
担当	入園所相談課	教育大綱（1）イ
【概要】	事業費	3,250万円

待機児童対策として実施している夏季休業期間中のみの育成クラブの運営を民間事業者へ業務委託します。

取組名	放課後児童居場所づくりの試行実施	
担当	入園所相談課	教育大綱（1）イ
【概要】	事業費	1,106万円

久代小学校と桜が丘小学校をモデル校として学校施設を活用し、おとなが児童を見守り、サポートを行う放課後児童居場所づくりを試行実施します。

取組名	R6年度整備の民間教育保育施設の運営開始	
担当	入園所相談課	教育大綱（1）イ
【概要】	事業費	25,940万円

R7年度より新たに開設する２施設の民間教育保育保育施設の運営を支援します。

取組名	小学校へのエレベーター設置	
担当	施設マネジメント課	教育大綱（2）ウ
【概要】	事業費	21,882万円

バリアフリー環境を整備するため、多田東小学校、牧の台小学校にエレベーターを設置し、東谷小学校で設計を実施します。

取組名	小中学校体育館の空調整備	
担当	施設マネジメント課	
【概要】	事業費	151,600万円

児童生徒の教育環境向上を図るとともに、避難所である体育館の環境を改善するため、全小中学校の体育館に空調設備を整備します。

取組名	「こどもが想いをカタチにできるプロジェクト」の実施	
担当	教育政策課	教育大綱（2）エ
【概要】	事業費	100万円

中学校と川西養護学校において、生徒会を中心に、子どもたちが主体的に考え、様々な意見を議論して提案し、予算を活用しながらその実現を行います。

取組名	物価高騰対策に伴う給食非喫食者等への支援	
担当	教育政策課	
【概要】	事業費	3,500万円

R6年度3学期の給食費を無償化するのに合わせ、長期欠席等の理由で給食を食べていない児童生徒に対しても支援を行います。

取組名	小・中学生の多様な学びの場（居場所）づくり	
担当	教育保育課	教育大綱（2）イ
【概要】	事業費	517万円

小・中学生のための多様な学びの場（仮称：学びのスペース「北部セオリア」）を配置し、社会的自立に向けた支援を行います。

教育委員会事務局の主な取組

川西市では、すべての子どもたちの充実した学びや育ちに向けて、様々な取組を進めており、令和７年度事業のほか、これまでの主な取組内容を以下のとおりまとめています。

主体的な学びや育ちを習得できる環境の充実

取組名	ICT教育の推進
概要	令和2年度に、全小中学校及び特別支援学校に学校通信ネットワークを整備し、すべての児童生徒にタブレットPCを配備しました。また、令和5年度より、全小中学校普通教室に電子黒板を配備しました。

取組名	基礎学力の定着に向けて
概要	児童生徒の英語力向上を図るため、令和2年度に外国語の授業に配置している外国人の指導助手（ALT）を増員し、全小中学校に1名ずつ配置しました。 令和5年度には、中学校において、英語・数学の基礎学力の定着を目的に全学年で少人数授業を実現するための環境づくりとして、新たに教職員を配置しました。 令和6年度には、子どもたちが、いつでも学び直しができるよう、中学生を対象にした民間事業者による学習支援を放課後の教室で実施しました。

取組名	「学びの深化」実践指定
概要	令和6年度、従来型の教育保育にとらわれず、多様な教育保育活動を実践する学校園所等を指定し、子どもたちの主体的な学びの実現に向けた授業改善や教育課程の見直し等を支援しました。

協働的な学びや育ちの実現

取組名	全小中学校に校内サポートルームを設置
概要	令和4年度に、全小中学校において、校内サポートルームを運営し、子どもたちに多様な居場所や学びの場を確保しました。また、児童生徒の生活・学習を支援する支援員を配置しました。 令和6年度には、中学校における校内サポートルームの支援員の配置時間を拡充しました。

インクルーシブ教育保育の推進

取組名	保育施設での医療的ケア児の受入れ
概要	令和4年度に、医療的ケアが必要な子どもの受け入れが可能となるよう体制を整備し、令和5年度から、市立就学前施設で、医療的ケアが必要な子どもの受入れを行っています。

取組名	支援児サポートシステムを活用した切れ目のない教育保育の支援
概要	客観的なアセスメントに基づき、個々の発達段階に応じた適切な教育保育を提供するため、令和5年度から、支援児サポートシステムを活用しています。

学校運営をみんなで考える体制の構築

取組名	学校運営協議会の設置
概要	市内全校園に学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映させています。

人権教育の推進

取組名	「子どもの権利」を学ぶカリキュラム
概要	子どもたちが自分自身の権利について学ぶ機会を、全ての学校園所で設けるとともに、子どもの意見を尊重する仕組みづくりを進めました。

質の高い教育保育環境の整備

取組名	中学校給食の実施
概要	中学校で、特定原材料等全28品目のアレルギーに対応した米飯中心の手作り給食を開始しました。

取組名	長期休業のあり方検討
概要	令和7年度より、授業時数の見直しに伴い、春休み・冬休みを1日増やし、新たに秋休みを1日新設しました。

取組名	中学校での自転車通学の試行実施
概要	令和6年度に、清和台中学校区（けやき坂地区）及び東谷中学校区（北陵地区）で、自転車通学を試験的に実施しました。あわせて、路面表示として矢羽根を整備しました。

取組名	留守家庭児童育成クラブの充実
概要	令和6年度に待機児童の解消をめざし、民間留守家庭児童育成クラブを誘致するため、取り組みを進めてきましたが、誘致が困難な状況となりました。また、市立育成クラブにおいても運営が厳しい状況にあることから、育成クラブとは異なる新たな放課後の居場所づくりの検討を進めました。また、主任支援員を補佐する副主任支援員を配置し、運営体制の強化を図りました。

取組名	民間教育保育施設への運営支援の拡充
概要	令和6年度に新たに開設した3施設の小規模保育事業所への運営支援を行いました。また、民間教育保育施設における保育人材の確保と定着を図るための新たな支援として、採用後3年間にわたり、保育士等へ一時金を支給した施設に対する補助金を新設しました。

学校園所の主な取組

すべての子どもたちの充実した学びや育ちに向け、それぞれの学校園所で取り組んでいる主な取組内容を以下のとおりまとめています。

主体的な学びや育ちを習得できる環境の充実 / 協働的な学びや育ちの実現

取組名	子ども主体の教育保育の推進
概要	従来の一斉講義の授業だけではなく、子ども自らが「問い」を持ち、学ぶことが大切です。例えば、探究的な学習や教科横断的な学習等、多様な学習方法により子ども主体の教育保育を推進します。

取組名	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
概要	主体的・対話的で深い学びを達成するため、アナログとデジタルのそれぞれのよさを活かして、子どもたちの「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進していきます。

その他 具体的な取組	子どもが夢中になる遊びを実現する保育　/　異学年学習　/　自由進度学習　/ オンラインによる国際教育　/　劇を活用した表現学習　など

インクルーシブ教育保育の推進 / 人権教育の推進

取組名	多様な学びの場の確保
概要	教室での学びのみではなく、校内サポートルームや学校外での学びのスペース「セオリア」、オンライン学習等、誰もが学ぶための場所と選択肢を確保します。

取組名	インクルーシブ教育保育の推進
概要	集団及び個々の教育的ニーズに応じた配慮や支援、ユニバーサルデザインの視点を活かした授業・保育など、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、違いや失敗を認め合える集団をつくっていきます。

その他 具体的な取組	0.1.2歳児の育児担当制保育　/　「子どもの人権」学習会 自立活動や通級指導の充実　など

学校運営をみんなで考える体制の構築

取組名	子ども自らが創る生活
概要	子どもの日常生活において、例えば運動会や生活発表会、卒園式等の行事、校則等のルールメイキング、教育課程の内容等に対して、自ら関わり、意見を表明し、仲間と創り上げる経験を積んでいきます。

取組名	子どもと教育委員会の意見交流会
概要	子どもが自身の意見を表明する機会を通して、学校や社会の一員としての当事者意識を育み、次世代の民主主義社会の担い手の育成を図るために、子どもと教育委員会の意見交流の機会を持ちます。

その他 具体的な取組	学級活動や児童・生徒会活動をはじめとした特別活動の充実 デジタル・シティズンシップ教育の推進　/　給食献立意見交流会　など

地域社会との協働による子どもの健やかな成長の支援

取組名	就学前・小・中の交流や連携の強化
概要	子どもたちの豊かな育ちが連続してつながるように、市立園所ならびに認可された民間園所と小学校の連携を強化するための連携校園所を制定し、「川西市架け橋期カリキュラム」を作成することで、異校種連携を充実させます。

その他 具体的な取組	地域の方との関わり（ボランティア・ゲストティーチャー等）の推進 民間との連携　/　体験活動の充実　など

子どもの学びや育ちを支える教職員の育成

取組名	子どもに伴走する学校園所
概要	子ども主体の教育保育活動に取り組む学校園所や教育保育職員等の実践を市全体へ広げることで、市内の教育保育職員が主体的に学び合う同僚性を高め、子どもとともに学ぶ学校園所を目指します。

その他 具体的な取組	教職員の資質能力の向上に資する研修　/　チーム担任制 柔軟な教育課程の編成　など

令和５年度の主な取組と外部有識者からの評価

令和５年度に教育委員会事務局が実施した取組の中で、特に重要なものについて、主な取組と教育行政事務評価での評価について紹介します。

基礎学力の定着に向けて

取組名	中学生が少人数で授業を受けられる環境整備
令和５年度取組	市立中学校の数学もしくは外国語の授業で基礎学力定着に係る少人数指導加配教員を配置
評価委員による評価	「簡単な計算が出来る、漢字が書ける生徒が増えた」といった基礎的な内容にフォーカスしてもよいので、直接的に成果が現れるものを目標値として設定し、教育委員会としてより明確に成果を把握する必要がある。 基礎学力の向上については、人材の確保よりもICTを活用した取り組みの方が効果的な可能性がある。担当課には引き続き検討を行っていただきたい。

すべての子どもに多様な学び方を

取組名	市内全小・中学校での校内フリースクール開設
令和５年度取組	市立全小中学校への校内フリースクール設置と支援員の配置
評価委員による評価	校内外に子どもたちの居場所をつくることはとても良い取り組みであり、今後も拡充を進めていただきたい。 市の予算で取り組んでいる部分についても、子どもたちの環境の向上や教員の負担軽減のため、国が制度化して予算化するよう、エビデンスを基に働きかけるのがよいだろう。 意義のある取り組みであるので、１つの失敗でつまずかないように、研修や情報収集には留意していただきたい。

地域との協働の推進

取組名	地域学校協働活動の推進
令和５年度取組	学校運営協議会の設置、地域学校協働本部の設置
評価委員による評価	全ての学校園で学校運営協議会の設置が完了したので、今後は学校運営協議会が目指すべき姿を教育委員会が示す必要がある。 地域に開かれた学校になっていくことは大事であるが、それによって生まれる摩擦への対応や、教職員の働き方、また支援員への報酬や活動に対する支援についても議論を重ねていかなければならない。 教育委員会の取り組みとしては次のステップに進む段階である。目標設定を明確にし、地域との協働を継続していただきたい。

ICT教育の推進

取組名	教育用ネットワーク機器の更新
令和５年度取組	教職員PCの１台化、校務支援システムの拡充更新、校務の無線化、電子黒板の導入、GIGAスクール運営支援センターの開設
評価委員による評価	ナショナルスタンダード以上の取り組みをしており、近隣市と比較しても校内ネットワークの整備が早いことは評価出来る点である。 この取り組みが教職員の業務改善にどれだけ繋がったか、また教職員の業務改善が子どもの学力向上にどれだけ寄与しているか、子どもたちの学力や教員の教え方がどう変化したか等、校内へのICTの導入により起こった変化を、定量的な側面から示すことが必要である。 情報管理に注意しながら、積極的に活用して好事例を積み重ねていっていただきたい。

インクルーシブ教育保育の推進

取組名	帰国・外国人幼児児童生徒に対する語学支援
令和５年度取組	日本語支援を必要とする外国人児童生徒及び保護者に対する語学支援、多言語翻訳機の導入
評価委員による評価	語学支援の対象を市が独自で就学前施設まで拡大したことにより、就学の前段階から保護者へのかかわりを含めた支援を行えるようになったことは、とても意義のあることである。 スマートフォンでも通訳をすることが可能となっている中で、人による通訳の必要性についても検証の必要がある。人による通訳と、多言語翻訳機等の機械を用いた通訳を効果的に使い分けていただきたい。 就学前後での一貫したサポートを目指し、より効果的な施策となるように進めていただきたい。

取組名	支援が必要な子どもをサポートするシステムの導入
令和５年度取組	特別支援教育充実のための教育ソフト利用
評価委員による評価	特別支援教育において、支援計画の補助から教材の作成までを、適切なアセスメントに基づき一体的に支援するソフトを活用したことは評価出来る点である。 ソフトに依存してしまうと教員の指導力の低下に繋がる恐れもあるが、若年層とベテラン層の知識・技能面において質の担保が期待でき、より質の高い教育を提供できることはメリットの１つである。 ソフトの活用促進及び活用状況の把握をしっかりと行い、その成果を検証していただきたい。

留守家庭児童育成クラブの充実に向けて

取組名	留守家庭児童育成クラブ開所日の拡充
令和５年度取組	年末年始の開所日の拡充及び入学・卒業式の日の育成クラブ開所
評価委員による評価	保護者の就労支援・負担軽減に繋がる取り組みでである。 開所日が増えたことで、市民サービスの充実に繋がっている一方で、勤務する職員にとっては負担が増えている。働き方改革の観点から、勤務する職員へのケアが出来ているかが今後重要な観点となる。 必要十分な対応を達成するため、保護者や子どもたちにアンケートを取る等、利用者の声を積極的に拾い上げながら、継続的なサービスの提供を行っていただきたい。

取組名	留守家庭児童育成クラブの待機児童対策
令和５年度取組	夏季休業期間中のみの育成クラブの開設
評価委員による評価	夏休みだけ留守家庭児童育成クラブを利用したいというニーズに対し、夏季に利用していない学校の特別教室を利用することは良い取り組みである。 学校の教室数や人材確保の問題から、公立の育成クラブで定員を増やすのが難しい中で、待機児童ゼロを達成するための１つの対応として夏季クラブの開設は有効だろう。 居場所づくりという形で、児童館等、学童以外の場所を活用することで対応していくのも１つの方法である。

民間保育施設への支援

取組名	民間保育施設等への置き去り防止対策の支援
令和５年度取組	市内全園バスへの安全装置設置の補助
評価委員による評価	川西市内の民間園のバス全１１台（７園）に安全装置を設置するよう支援し、設置に至ったことは評価出来る。 本施策における市の役割として、全てのバスに安全装置が設置されているか、あるいは安全装置が適切に運用されているかといったような、指導監査に力を入れていく必要がある。 次年度以降、市としての運営支援の結果が数値で見えるように、指導監査の回数や内容等に力を入れていっていただきたい。